

三重県社長の平均年齢 過去最高の 59.7 歳、 10 年で 1.7 歳上昇

全国都道府県別では 9 年連続で最も若い
平均年齢上昇は 14 年連続

三重県・「社長年齢」分析調査(2025 年)



本件照会先

服部 光次 (支店長)
帝国データバンク
四日市支店
059-353-3411

発表日

2026/02/27

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

三重県内企業の 2025 年末時点での社長の平均年齢は 59.7 歳となった。社長交代率が 3.78%と低水準で推移するなか、平均年齢は 14 年連続で過去最高を更新し、経営者層の年齢上昇が進んでいる。

一方で、都道府県別では最も若いのは「三重県」と「沖縄県」の 59.7 歳であり、三重県は全国で社長の平均年齢が最も若い県となるのは 9 年連続。

本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」(全国約 150 万社収録)から 2025 年 12 月時点における三重県内企業の社長データ(個人、非営利、公益法人等除く)を抽出し、集計・分析した

社長の平均年齢は 59.7 歳、14 年連続で過去最高を更新

三重県の社長年齢が判明した企業を対象に 2025 年の平均年齢を調査した結果、会社(株式・有限)を率いる社長の平均年齢は 59.7 歳となった。前年(2024 年)から 0.1 歳上昇したほか、10 年前(2015 年:58.0 歳)から 1.7 歳、30 年前の 1995 年(55.0 歳)からは 4.7 歳、それぞれ上昇した。また、集計可能な 1990 年(53.9 歳)以降では、唯一前年から下がった 2011 年(57.3 歳/前年から 0.1 歳低下)を除いて平均年齢は上昇しており、2012 年から 14 年連続で三重県の過去最高を更新した。なお、全国の社長年齢は 60.8 歳で三重県はこれを 1.1 歳下回っている。全国的に少子・高齢化が進むなかで、企業を率いる社長の高齢化も進んでいる。

全企業のうち、社長が交代した企業の割合(社長交代率)をみると、2024→2025 年の交代率は 3.78%となった。前年(3.20%)から 0.58pt 上昇し、2021 年以来、4 年ぶりに増加へ転じた。ただ、世界的な IT 需要増や中国の高成長などがあった 2004 年(4.67%)や、コロナ禍直後で経営の見直しが進み、事業承継の動きが加速した 2021 年(4.06%)に比べると低水準で、社長年齢の上昇基調を反転させるには至らなかった。

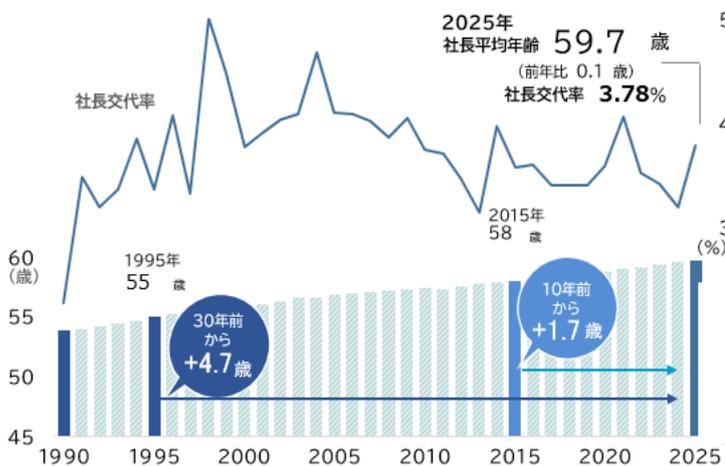
また、交代時における「交代前(引退)」社長年齢は 69.2 歳(前年比+0.6 歳)、「交代後(新社長)」の平均年齢は 52.3 歳(前年比+1.2 歳)となり、交代にともなう社長年齢の若返り幅は 16.9 歳となった。近年の健康寿命の延伸は、社長交代前後の経営者の平均年齢をそれぞれ引き上げていた。

2025 年は、物価上昇や賃上げ圧力、人手不足といった経営課題に加え、インボイス制度の本格運用、ゼロゼロ融資の返済が重なり、中小企業の経営者にとって負担の大きい事業環境が続いた。足元では将来を見据え、後継者を選定する動きが進んでいるものの、実際の承継では「現局面での引継ぎは適切でない」との判断から、交代を先送りする企業もみられる。

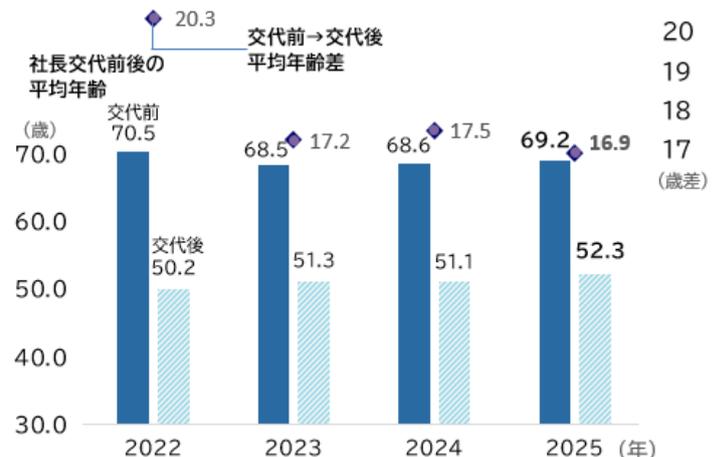
他方、特に収益力が厳しい中小企業では、事業を引き継ぐ人材の確保が依然として難しい企業も少なくない。コロナ禍を経て市場環境や取引構造が変化するなかで、経営者が自社の競争力維持や顧客・金融機関対応の観点から、「自身が退くことで業績や信用力に影響が及ぶ」と交代を躊躇する環境下に置かれた経営者が少なくない点も、結果的に社長交代率が上昇しなかった要因とみられる。

三重県内企業 社長平均年齢の推移

社長の平均年齢・社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



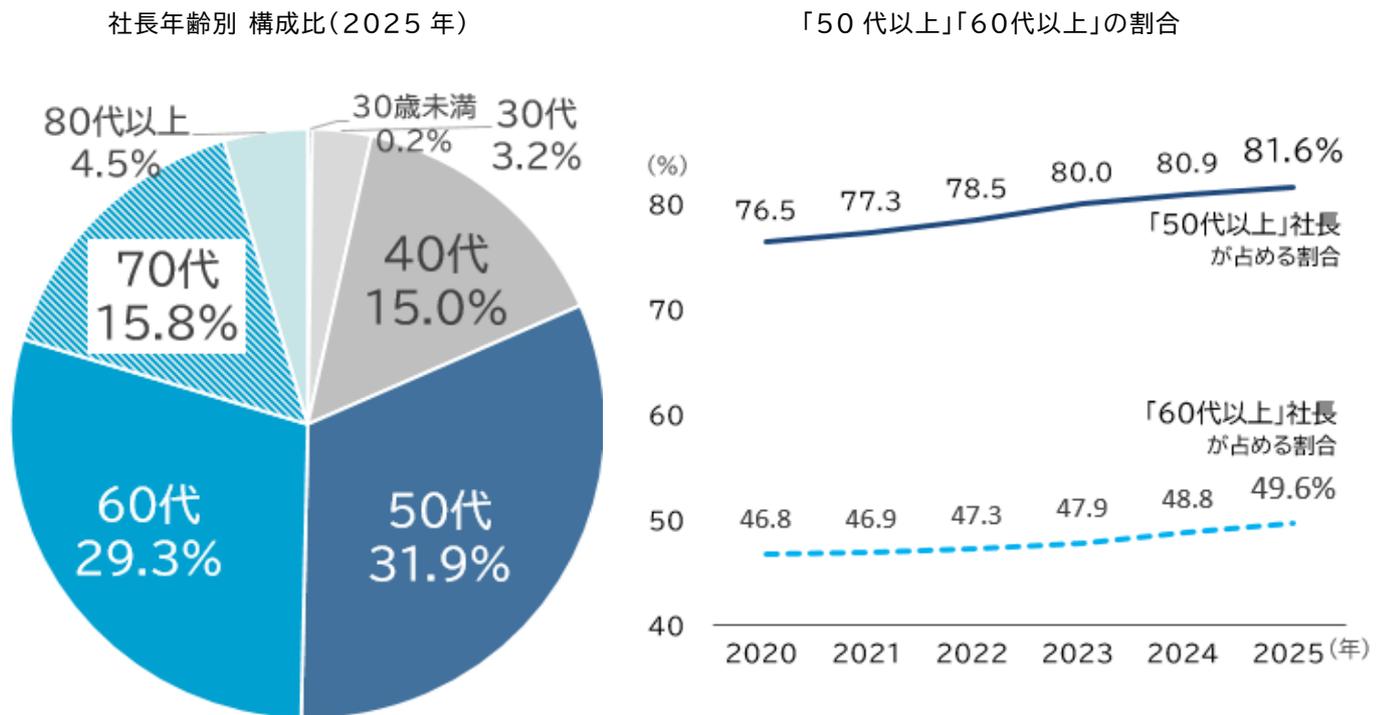
年代別構成比、50歳以上が81.6%、60歳以上は5割に近づく

2025年時点における社長の年代別構成比をみると、「50代」が31.9%を占め、全年代で最も高かったが、前年からは0.2pt低下した。続いて「60代」(29.3%)は前年から1.2pt上昇し、2025年に新たに59→60歳を迎えた社長が多く、割合を押し上げた。「70代」(15.8%)は前年から0.3pt低下、「80代以上」(4.5%)は同0.1pt低下した。

これらの結果、「50歳以上」の社長が占める割合は81.6%を占め、2024年(80.9%)から0.7pt上昇した。さらに「60歳以上」では49.6%と前年から0.8pt上昇し5割に近づくなど、社長の高齢化に歯止めがかかっていない状況が続いた。

一方で、「30歳未満」は0.2%、「30代」は3.2%と、30代以下の社長は全体の3.4%となり、独立起業や社長の世代交代などの効果によって前年(3.3%)を0.1ptながら上昇を示している。

三重県内企業 社長の年齢別構成比



業種別、最も高齢は「不動産」、若いのは「建設」

業種別にみると、「不動産」がもっとも高齢で 63.1 歳だった。不動産賃貸や管理業などでは比較的高齢の経営者が多く、特に「70 代」「80 歳以上」が突出しており、昨年に続き最も平均年齢が高かった。次いで、「製造」(60.8 歳)、「卸売」(60.4 歳)、「小売」(59.9 歳)と続き、県平均を上回ったのはこの 4 業種だった。以下、「運輸・通信」が 59.5 歳、「サービス」と「その他」がともに 58.8 歳で続き、独立起業や同族内で世代交代を行うケースの多い「建設」が 58.7 歳となり、最も若かった。

三重県内企業 社長の平均年齢と年代構成比(業種別)

業種	(歳)								(%)
	平均年齢	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
建設	58.7	0.3	3.4	15.8	35.3	28.1	14.0	3.2	100
製造	60.8	0.0	1.9	13.9	31.4	30.0	17.8	5.1	100
卸売	60.4	0.3	3.0	13.5	31.1	30.4	15.9	5.8	100
小売	59.9	0.2	3.2	15.5	30.8	28.6	16.2	5.5	100
運輸・通信	59.5	0.1	3.1	11.7	33.2	35.8	13.2	2.8	100
サービス	58.8	0.3	4.3	16.7	31.6	28.7	14.9	3.6	100
不動産	63.1	0.2	2.5	12.6	22.8	29.4	22.7	9.8	100
その他	58.8	0.4	4.8	17.1	29.5	28.6	15.8	3.7	100
全体	59.7	0.2	2.8	14.4	30.0	27.5	19.5	5.6	100

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とはならない、網掛けは全体平均を上回る数値

都道府県別、秋田県が 62.6 歳で最も高く東高西低

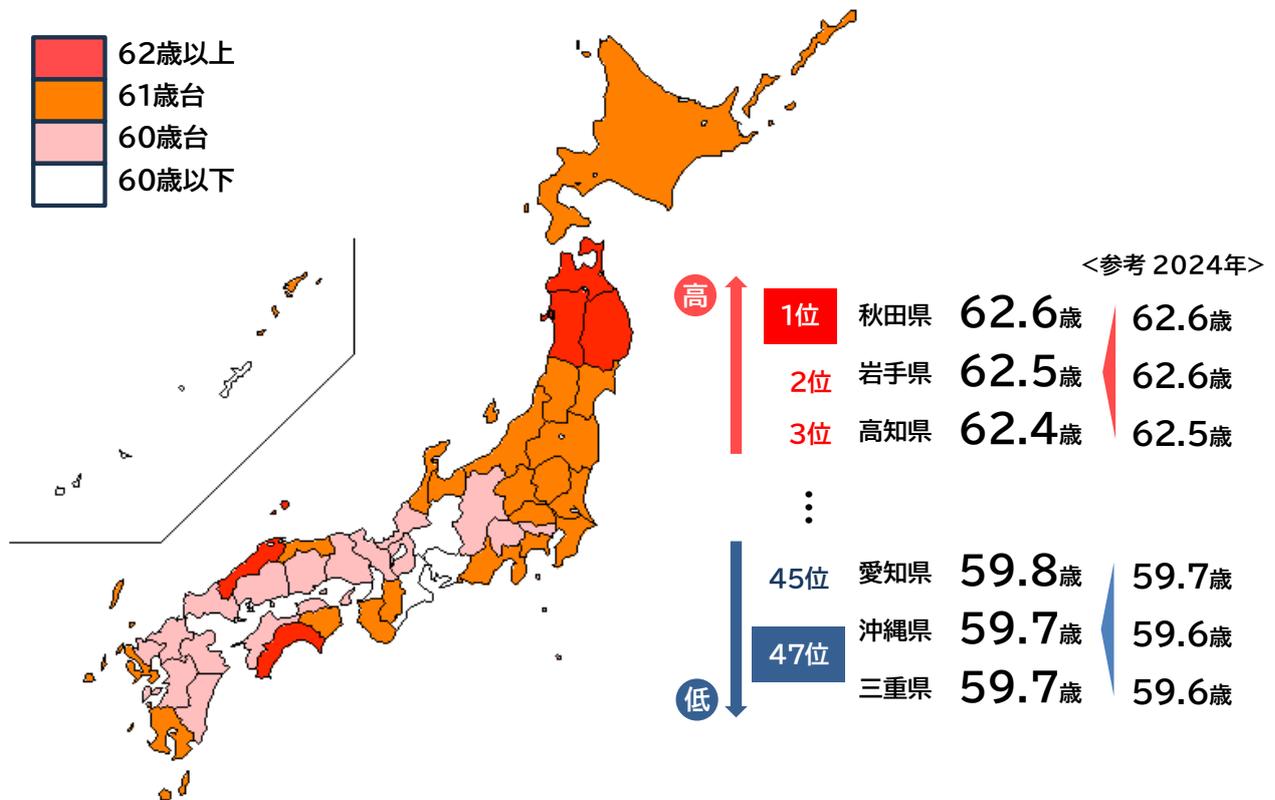
都道府県別でみると、「秋田県」(2024 年比+0.0 歳)が 62.6 歳で最も高く、8 年連続となった。次いで、「岩手県」(62.5 歳、同-0.1 歳)、「高知県」(62.4 歳、同▲0.1 歳)が続いた。とりわけ、東北地方の 6 県がすべて全国平均(60.8 歳)を上回っている。

一方、最も若かったのは「三重県」(59.7 歳、同+0.1 歳)と「沖縄県」(59.7 歳、同+0.1 歳)で、「三重県」は 9 年連続で最も若かった。三重県は、当社発表の*「後継者不在率動向調査(2025 年)」でも都道府県別で最も低い 33.9%となり、事業承継による代替わりが他県よりも比較的スムーズに進んでいる実態があらわれている。ただし、健康寿命の延長など経営者の成熟化(高齢化)も進んでおり、前年から 0.1 歳平均年齢が上昇している。

平均年齢が若い県では次いで、「愛知県」(59.8 歳、同+0.1 歳)が若く、60 歳を下回ったのは、「岐阜県」(59.9 歳、同+0.1 歳)と「大阪府」(59.9 歳、同+0.1 歳)を加えた 5 府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は東高西低が強い傾向となった。

*2025 年 12 月 2 日発表:三重県「後継者不在率」動向調査(2025 年)

社長の平均年齢 都道府県別



「事業承継」の促進と「起業家支援」の拡充が今後の焦点

調査の結果、2025年における三重県内企業の社長の平均年齢は59.7歳となり、都道府県別で9年連続で最も若かった。年間の社長交代率は3.78%と前年より改善され、一定の押し下げ効果があったものの、平均年齢は2012年から14年連続で過去最高を更新している。

社長交代前後の年齢に着目すると、交代前(69.2歳)、交代後(52.3歳)ともに前年を上回っており、若返りの効果は16.9歳におよぶものの、少子化や健康寿命の延伸という構造的要因のもと平均年齢の上昇が続く環境下では、社長年齢の上昇が今後も続くこととなる。

ただ、体力や気力の面で負担が増して、多くの中小企業経営者が引退の検討を始める60代後半、休廃業・解散時の代表者年齢で最も多い70代に該当する年代の割合は拡大している。

こうした状況を鑑みると、後継者不在の解決、事業承継の促進に加えて新しく会社を興す起業家の支援拡充も欠かせない。

近年は退職したシニア層の起業も増加しており、こうした層が平均年齢を押し上げている側面もあるが、全体では早期に事業承継問題に着手・実行できた企業と、経営面や人材面から事業承継ができず、社長の高齢化が続く企業との二極化が進行している可能性もある。

経営者年齢の上昇が継続する局面では、不測の事態による経営空白リスクも高まるため、将来の不確実性に備えた計画的な取り組みの重要性は一段と増しており、より早期の段階から事業承継を見据えた人材育成と承継計画の策定が求められる。

(参考) 都道府県別 社長の平均年齢推移

地域	都道府県	1990年	2000年	2010年	2020年	2025年		単位:歳(括弧内は順位)	
								対前年	対90年
北海道	北海道	54.3	56.9	58.9	60.9	61.6	(11)	+0.1	+7.3
東北	青森県	53.9	56.6	59.2	61.8	62.3	(4)	±0.0	+8.4
	岩手県	54.8	57.8	60.4	62.0	62.5	(2)	▲0.1	+7.7
	宮城県	53.9	56.5	59.0	60.6	61.3	(18)	+0.1	+7.4
	秋田県	53.8	56.3	59.5	62.2	62.6	(1)	±0.0	+8.8
	山形県	55.5	57.0	59.6	61.2	61.6	(11)	+0.3	+6.1
	福島県	54.1	56.3	58.8	60.7	61.7	(6)	+0.2	+7.6
関東	茨城県	53.3	55.9	58.5	60.9	61.7	(6)	+0.3	+8.4
	栃木県	53.0	56.0	58.9	60.4	61.3	(18)	+0.2	+8.3
	群馬県	53.4	56.2	58.4	60.4	61.2	(21)	+0.3	+7.8
	埼玉県	53.0	56.4	58.6	60.4	61.1	(22)	+0.2	+8.1
	千葉県	52.9	56.2	58.7	60.6	61.4	(15)	+0.2	+8.5
	東京都	54.3	57.1	58.4	59.6	60.2	(38)	+0.1	+5.9
	神奈川県	53.5	56.8	59.0	61.0	61.4	(15)	+0.2	+7.9
北陸	新潟県	54.6	56.7	59.1	61.2	61.7	(6)	+0.1	+7.1
	富山県	55.0	56.6	58.7	60.4	60.8	(30)	±0.0	+5.8
	石川県	54.2	55.9	57.8	59.2	60.0	(40)	±0.0	+5.8
	福井県	53.5	55.7	58.0	60.3	60.9	(26)	+0.2	+7.4
中部	山梨県	53.1	55.9	58.4	60.9	61.7	(6)	+0.2	+8.6
	長野県	54.5	56.9	59.1	61.0	61.7	(6)	+0.1	+7.2
	岐阜県	54.6	56.2	57.9	59.5	59.9	(43)	+0.1	+5.3
	静岡県	54.3	56.8	58.8	60.6	61.4	(15)	+0.1	+7.1
	愛知県	54.2	56.3	57.6	59.1	59.8	(45)	+0.1	+5.6
	三重県	53.9	55.9	57.4	58.8	59.7	(46)	+0.1	+5.8
近畿	滋賀県	54.3	56.3	57.1	59.1	60.0	(40)	+0.2	+5.7
	京都府	54.4	56.6	58.1	60.1	60.9	(26)	+0.1	+6.5
	大阪府	54.5	56.9	57.8	59.3	59.9	(43)	+0.1	+5.4
	兵庫県	54.5	56.6	58.2	59.8	60.7	(32)	+0.2	+6.2
	奈良県	54.2	56.2	57.8	59.9	61.0	(25)	+0.2	+6.8
	和歌山県	54.5	56.8	58.3	60.4	61.6	(11)	+0.1	+7.1
中国	鳥取県	54.4	56.5	58.9	60.7	61.3	(18)	+0.2	+6.9
	島根県	55.1	57.1	59.2	61.5	62.3	(4)	+0.3	+7.2
	岡山県	53.9	56.5	58.2	59.4	60.3	(37)	+0.1	+6.4
	広島県	53.9	56.6	58.2	60.0	60.8	(30)	+0.1	+6.9
	山口県	54.8	56.7	58.8	60.2	60.9	(26)	+0.2	+6.1
四国	徳島県	53.1	55.9	58.3	60.5	61.1	(22)	+0.2	+8.0
	香川県	54.7	57.0	58.6	60.1	60.5	(34)	+0.1	+5.8
	愛媛県	53.8	56.1	57.9	59.9	60.9	(26)	+0.2	+7.1
	高知県	54.1	56.7	59.0	61.6	62.4	(3)	▲0.1	+8.3
九州・沖縄	福岡県	53.5	56.1	57.5	59.5	60.0	(40)	+0.1	+6.5
	佐賀県	54.6	55.9	58.2	60.3	60.6	(33)	+0.1	+6.0
	長崎県	54.0	56.2	58.8	61.1	61.6	(11)	+0.1	+7.6
	熊本県	52.7	55.4	57.9	59.9	60.2	(38)	+0.1	+7.5
	大分県	53.7	55.8	58.0	60.1	60.4	(35)	+0.1	+6.7
	宮崎県	53.0	55.7	58.0	59.9	60.4	(35)	+0.2	+7.4
	鹿児島県	53.6	55.8	58.4	60.6	61.1	(22)	+0.1	+7.5
沖縄県	51.5	54.0	56.4	59.3	59.7	(46)	±0.0	+8.2	
全国		54.0	56.6	58.4	60.1	60.8		+0.1	+6.8